

## 第13回危機対策会議 知事訓示

八潮市中央一丁目の交差点中央付近の陥没事故から10日が経過した。

一昨日、流域下水管内のドローン調査で、トラックのキャビンと思われる物が確認され、現在、関係機関と連携して、いわゆるレスキュー活動の方法について検討をいただいているところである。

他方、県としても土木的な工法を早急に検討し、全ての関係者と連携して一刻も早い救出活動に着手できるよう、努力いただきたい。

また、本日19時頃から、落下の恐れのあるボックスカルバートの撤去作業を開始し、レスキュー活動に着手する消防などの環境の整備に乗り出す。

これらの作業に伴い、これまでの市からの避難勧告に代わり、万一の事態を避けるため、県として、ご自宅からの避難をお願いしているところ、避難される方々に対し、寄り添った対応をお願いする。

12市町、120万県民・事業者の皆様に下水道使用自粛をお願いしていることを踏まえ、国や市町村、消防、警察、ライフライン事業者だけでなく、あらゆる関係者との連携を密にし、様々な側面から地域を支えることができるよう、ワンチームでの対応をお願いする。

重ねてにはなるが、この事故に伴い、被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げますとともに、被害の拡大防止やその影響を最小限にとどめるよう、県として全力を尽くしていただきたい。

最後に、国土交通省、消防庁、自衛隊等の国や日本建設業連合会をはじめとする企業団体の関係の皆様にご協力に感謝するとともに、県民の皆様には大変ご迷惑をお掛けするが、引き続きのご理解とご協力をよろしくお願いする。

以上。